

検査のパレット

コリンエステラーゼの異常低値を経験しました。
調べているうちに当院でも関係あるので、お話したいと思います。

そもそもコリンエステラーゼ(ChE)ってなに？

体内で働く酵素のひとつです。

肝臓だけで作られていて、他の肝機能検査に比べ、いち早く異常値を示します。アルブミンと一緒に変動！
なので他の肝機能検査値と合わせてみることで、肝臓の障害されている程度がわかります。

基準値を下回るとき→急性・慢性肝炎など、
著しく低いとき→肝硬変や転移性肝がんなど、
肝臓病の経過を見ていく上で重要な検査となります
また低栄養（悪性腫瘍など）でも低値になります

ちなみに
急激に増加した場合
ネフローゼ症候群

高値の場合
甲状腺機能亢進症
脂肪肝、糖尿病など

今回は **ChE異常低値** でした。しかし **アルブミン値は正常** です。
肝機能など他の検査値の異常が認められないので肝硬変などの肝臓病は考えにくく、
ではなにが考えられるのか？

一番は**有機リン中毒**です。

サリンや農薬のパラチオンなどの有機リン、殺虫剤のカルバミン酸を摂取した場合
です。この場合生死に関わることなので救急車搬送されているはずですが、
患者さんは検査入院のために独歩で来院されていました。

悩んでいると田村医師より**遺伝性 ChE 欠損症**という病名を聞きました。
とてもレアな病気です。しかし ChE が低くても日常生活には影響はないそうです。
ちなみに山陰地方でこの病気の方がおられるようです。
ただこの病気は手術で筋弛緩剤を使うと遅延性の無呼吸症を起こすことがあります。
欧米では ChE 測定は手術前のスクリーニング検査として行われているそうです。

この方は“遺伝性 ChE 欠損症でしょう”となりましたが、

調べていくうちに**シクロホスファミド**という薬でも異常低値を示すことが
わかりました。この薬なんだろう？ ということ
当院の薬剤師に聞いてみたら、**抗がん剤で当院では乳がん患者に投薬**されているとの
ことでした。

検査測定器が壊れてしまったのか？試薬が悪くなったのか？いろいろ試して測定
しました。このように日々検査値を正確に提供できるように心がけています。
今後とも検査室をよろしくお願い致します。